

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.5
213

ピックアップ

トヨタ自動車様のレクサスLFAのチーフエンジニアである棚橋晴彦様がイナテック和泉工場に来社されました。

テレビ、専門誌等で大変有名な棚橋さんです。

「カーグラフィック」社の関連取材でジャーナリストの福野様と他沢山のスタッフの方々がトヨタ自動車様、アイシン・エアアイ様の方々の立ち合いのもと始まりました。

鋳物の型の方案から始まり造型・注湯・仕上げと各工程丁寧に質問していただき失礼だが「ものづくり」にすごくお詳しく、楽しく、緊張しながらイナテックの和泉工場の皆

が積極的に説明していただきました。

その時の和泉工場の社員の皆は自分の事に自信溢れる凛々しい姿でした。

今回のように歴史的なLFA造りに少しでも参加させていただける幸せを感じたいします。

LFAチーフエンジニアの棚橋晴彦様が言ってみえる『絶対性能はもちろんですが乗って“最高に気持ちのいい”クルマに仕上がっています』そんなクルマに参画させていただいている喜びと緊張感は今回の御来社でより一層実感するものでした。

これからもイナテックは“ものづくり”にこだわり、技術を深化しつづけお客様に喜んでいただける様に頑張り続ける事を皆で誓いましょう。

本当に御来社ありがとうございました。

イナテック交通安全ルール

イナテックには交通安全三原則があります。

- センターラインのある道路を通る
- 車間距離をあける

● 黄信号は速やかに停止する

以上です。

今まで、どのようでしたら良いかはあまり説明していなかったようですので私の考え、思いを書きます。

● センターラインのある道路を通る
住宅街など狭いところに住んでいる場合などはセンターラインの道に出して下さい。狭い道路は事故の確率が間違いなく高いからです。

そして次に通勤途中に“近道”として狭い道を使う事がいかに危険かということですが、“近道”を使う時は急いでいる時です。又、“近道”を通る人は「おおちゃくい人」が多いからです。急いだ人同志が狭い道を競うわけです。心にゆとりのない者同志が起こす事故は当然多いわけです。(守れるかどうかは自分の心を神様が試しているのです)

● 車間距離をあける

これは「心の余裕」を表します。停車中の車間距離が狭いという事は発進の際のタイミングによって“追突”の確立が高まります。

又、走行中の車間距離についても走行時速にもよりますが街中走行では車2台分強くらいが良いように思いますし、信号待ちなどは「停止線が見える所」、そして前の車が停止している場合は前の車の後輪のタイヤが十分見える位置に停止するとタイミングによる「コッソリ追突」は避けられます。「車間距離はその時の心の余裕度です。」

- 黄信号は速やかに止まる

これは当たり前前のことです。交差点での交通事故は事故件数の50%以上なのです。やはり余裕を持って黄信号で止まれる心がけです。皆でインターネット交通ルールを守り社会に迷惑をかけない社員集団として社会に貢献します。

変なちよつと危うい思考回路

インターネットも中国に進出する決断をし、中国プロジェクトも発進いたしました。その中で『日本と中国』との間の通話料金のことで、中国プロジェクトの人たちの原価意識には本当に頭が下がり本当に立派なんです。

携帯電話同志だと 200円 / 回(分)

スカイプ 無料

中国携帯と日本固定電話 140円 / 回(分)

だから『スカイプ』以外は非常に高価だから・・・』という声がよく聞かれるようになりました。

気を付けないといけないのが『通話料金の値段』ではなく『情報の重要性』『緊急性』だということです。どうでもいい話を携帯でダラダラ話すのは当然ダメです。

しかし重要で緊急な案件を高価(200円?)

だからということで先延ばしにしたら大変な事になること、つまり情報の内容の重要性・緊急性を優先することの方がよっぽど大切なことなんだということです。

ちなみに「スカイプが無料」なんだけど皆が使い方を知っているのかといえば皆知らない。そんな中で『通話料が高いからかわるな』となると誤解が誤解を生んで大変な問題につながる危険性がある事を皆さんはしっかり考えて下さい。『今や、情報のスピードは大切です。企業の命取りになりますぞ』